



はとぽっぽ

令和8年9月9日（水）第9号

山滝小学校 校長室だより

ずいぶん前の話になってしまっ^{まへ はなし}てごめんなさい。小学1年生の^{しょうがく ねんせい}名探偵が大かつやくする映画^{めいたんてい だい えいが し}って知ってますよね。新しい映画が^{あたらし えいが}公開される時期^{こうかい じ き あ}に合わせて、テレビでも1年前の映画を放送^{ねんまえ えいが ほうそう}してくれますね。校長先生は、毎年そのテレビ放送^{こうちようせんせい まいとし ほうそう}をととても楽しみにしています。^{たの}（ちなみに去年の映画は見に行^{きょねん えいが み い}っていません…）

ところが…なんと、今年^{ことし}は見るのをすっかり忘^{わす}れていました！録画^{ろくが}もしていませんでした。テレビ放送^{ほうそう}が終^おわった次の日の、校長先生^{つぎ ひ こうちようせんせい}の気持ち…みなさん分かりますか？「なぜ忘^{わす}れたのだろう。いつもこの時期^{じ き ほうそう}に放送するのに！」^{ばんぐみひょう}「どうしてテレビの番組表^{ばんぐみひょう}をチェックしなかつたのだろう。いつもしているのに…」

こんなふうに、「あーあ、やってしまった…」と、あとからくやし^{おも}く思^{おも}う気持ち。これを「後悔^{こうかい}」と言^いいます。

後悔^{こうかい}するのって、あまり良^よい気持ちではありませ^{き も}んね。できれば、こ^{すこ}んな気持ちになることは、少しでも減^へらしたいものです。

たとえば、学校生活^{がっこうせいかつ}のなかで考^{かんが}えてみます。「忘^{わす}れ物^{もの}をしてしまっ^{わす}て、あとから後悔^{こうかい}しないためには？」^{きょうしつ か}「教室^{きょうしつ}やろう下^かでケガ^{けが}をしてしまっ^{わす}て、あとから後悔^{こうかい}しないためには？」^よどうすれば良^よいのでしょうか。たぶん、みなさんはもう分^わかっているはず。ふだんから「気^きをつけようね」と言^いわれているルールを、しっ^{まも}かり守^もれば良^よいのですね。

「ちょっとぐらいならいいよ」そんなふう^{おも}に思^{おも}ってしまう気持ちも分^{き も}かります。こ^きういう気^きのゆるみを「油断^{ゆだん}」と言^いいます。でも、この「油断^{ゆだん}」が「後悔^{こうかい}」につな^{つな}がってしま^いいます。「あとで後悔^{こうかい}しないためには、いま、どうすれば良^よいかな？」^{かんが}とい^{こうどう}うことをしっ^しかり考^{かんが}えて、行^{こうどう}動^{どう}でき^きるようになっ^{ねが}てほしいなと願^{ねが}っています。